

長野県諏訪郡原村「原村・JOMOあゆみの森」における森林ボランティアの実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、二酸化炭素の吸収源となる森林の健全な育成を図るため、2005年4月に長野県諏訪郡原村(村長:清水 澄)との間で「森林(もり)の里親」契約を締結し、原村の森林整備に協力しております。このたび、本年度第3回目(通算9回目)の活動として、10月20日と21日の両日、「原村・JOMO あゆみの森」およびその近隣で、社員らが参加して森林ボランティアを実施しました。
2. 今回は、ボランティアとして当社の社員およびその家族等が参加し、森林の健全育成のための間伐や下草刈り等を実施しました。概要は次のとおりです。
 - (1)開催日:2007年10月20日(土)~10月21日(日)
 - (2)場所:長野県諏訪郡原村
 - (3)内容:「原村・JOMO あゆみの森」付近の間伐および下草刈り
 - (4)参加者数:約70名
 - (5)その他:

地元の方々との親睦を図るため、自然散策や木工体験等を実施しました。

今回、当社は、原村の村長より「原村応援大使」(注1)の任命を受けました。今後、原村の様々な魅力を全国に情報発信していくこととなります。

(注1)「原村応援大使」
原村が魅力あふれる村としてさらに発展するよう、原村の様々な資源(自然・環境・農業・観光等)について全国に情報発信する協力者のことで、原村の村長により任命される。
3. この原村における森林整備活動により産出された間伐材につきましては、印刷用紙への国産間伐材の利用を促す仕組み「3.9ペーパー」により、当社が発行するCSRレポートや「童話の花束」(注2)などの印刷物に活用されております。

(注2)「童話の花束」
当社が、毎年「心のふれあい」をテーマに一般の方からオリジナルの創作童話を募集し、優秀作品を選出のうえ、童話集として発行している冊子のこと。
4. 長野県では、森林の健全な育成を図るため、2003年から「森林の里親促進事業」を推進しています。これは、長野県の仲介により、環境保全活動に取り組む企業と森林を保有する市町村が連携して森林整備に取り組むものです。当社は、本趣旨に賛同し、森林の里親として、二酸化炭素の吸収源となる森林整備のための資金を提供するほか、社員のボランティア等による整備活動を行っております。

以上

● 【参考資料】森林ボランティアの様相



森林整備作業の様相



自然散策の様相



原村応援大使任命証